

創業 115 年

来^き住^し野^の工務店



今、私たちは新型コロナウイルスの猛威の中、今までの当たり前が崩壊した時代を生きています。ですから、企業としては業務のIT化・遠隔化が当然のこと求められております。これが新しい時代の当たり前なのですが、設計監理業務や現場作業は、すべてIT化・遠隔化できるものではありません。

お客様の声、雰囲気、会話の抑揚やその時の表情。すべてを設計に取り入れているため、これが旧時代的であっても、業務への取り組み方すべてを一新することはできません。

新しい時代のスタンダードとしての働き方を取り入れつつも、やはり人の力が必要なんです。

医療のひっ迫、各業界への甚大な影響、人々の精神的な疲弊。コロナ禍の今だからこそ、私どもは消極的になることなく、立ち上がる必要があると考えております。

できない理由を探すよりも、できる方法を探したい。私たちは今、一緒に働く仲間を募っております。

SDGs という持続可能な開発目標がございます。世界が掲げる 17 の目標ですが、これを私個人としても、右の企業理念としても取り入れております。

まさに時代は大きなうねりのなか大変革を迎え、大量生産・大量消費の時代は目に見えて衰退していております。ですから、日用品を除いて、どこでも売っているものを買うべきでしょうか？

それ、本当に気に入ってますか？人にやさしいですか？美しいですか？

もう一度考え直すべき時だと思っております。

日本人は本来そういったものを文化として作れるのではないかと。少なくとも私たちは作ることができます。

歴史が深く、人にやさしくて、なおかつ美しいもの。

それを付加価値として提案していくのが私たちの努めであると考えております。

代表取締役 来住野 匠



来住野工務店
HP



採用情報

企業理念・企業目標

働きがいを見出し経済成長につなげること

弊社では経験の浅い方でもスキルアップし、働きがいを見出してもらえるよう、具体的な資格取得支援制度を設けております。

また福利厚生についても、従業員とその家族に対しても充実させております。そして、一緒に働く従業員を何より大切な、企業としての宝であると考えております。

自分を高めるよろこびを感じていただき、それを地域の経済成長につなげることを目標としています。

ジェンダー平等を実現（積極的な女性登用）

弊社では、たくさんの女性スタッフが活躍中です。

家事や子育てに加えてなお、働く女性を私は心から尊敬しています。弊社は女性従業員に精神的、肉体的負担を軽くできるよう、家庭中心の就労時間や柔軟な雇用形態をとっております。

住み続けられるまちづくりを

コロナの時代。多くの方がそこに住む・そこで働く理由を改めて考え直していらっしゃる。今、東京都内からあきる野市近辺へ移住の相談も多くございます。

無尽蔵で、計画的でない住宅供給を考え直し、地域に根差した、安心安全で魅力的な街づくりを。

そういった観点からも、私たちは地域のお客様を特に大切に考え、建築業にありがちな、都内や遠方での仕事を極力控えております。



住宅はお客さまの分身

細身のスーツと一本にしばった長い髪がトレードマーク。一見、気難しい雰囲気だが、しゃべり始めると柔和な笑顔がのぞく。

創業115年、あきる野市五日市にある来住野工務店の4代目、来住野匠社長だ。「建築に携わる者として『匠』という名前。私はこの名前を付けてくれた親にとっても感謝しています。他の仕事に就きたいと思っただけで一度もない」と、幼い頃から建築の道を志して育ったという。

恵まれた環境の下で育ち、武蔵野美術大学建築科へ進学。絵画や彫刻、哲学など建築に直結しない授業にも、「表現する上で必ず役に立つ」と積極的に参加した。今でも仕事外で立体造形やデザイン画などに取り組み、常に頭をよわらかく保つよう心掛けている。

一級建築士のほか、伝統再築士、古民家鑑定士、宅地建物取引士の資格を持つ。2018年に先代の弘さんから社長を引き継いでからも、古き良きものを重んじる考え方は崩さずに、現代的な要素を取り入れ、お客さまの要望に寄り添ったモダンで魅力的な建物を多く手掛ける。

打ち合わせを「お客さまを知る活動」と呼び、会話や表情からも、本人さえ気付いていないかもしれない好みや要望を見付け出し、設計・施工に反映させることに心を砕く。

「住宅はお客さまの分身。新築でもリフォームでも、ご要望をかなえつつ、それ以上に喜んでもらえる要素を少しだけ加えるようにしています」



一級建築士 来住野 匠 社長